

2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月14日

上場会社名 ローランド株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7944 URL <https://www.roland.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 菱輪 雅弘
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO (氏名) 清水 義之 (TEL) 053-523-0230
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	25,633	13.7	1,947	35.0	1,731	28.9	1,429	△22.1
2025年12月期第1四半期	22,543	2.1	1,442	△7.8	1,343	19.6	1,835	87.1

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 2,275百万円(-%) 2025年12月期第1四半期 △415百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	54.20	—
2025年12月期第1四半期	67.65	67.29

(注) 2026年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	80,809	41,386	50.8
2025年12月期	83,477	41,364	49.2

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 41,083百万円 2025年12月期 41,078百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	85.00	—	85.00	170.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	85.00	—	85.00	170.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	49,500	8.1	3,900	2.0	3,700	0.3	3,000	△23.4	114.03
通期	106,400	5.4	10,000	6.2	9,600	6.4	7,200	232.1	273.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期 1 Q	26,580,659株	2025年12月期	26,580,659株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	205,256株	2025年12月期	208,367株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期 1 Q	26,374,884株	2025年12月期 1 Q	27,125,302株

(注) 普通株式の期中平均株式数の計算において控除する自己株式に、役員向け株式給付信託及び従業員向け株式給付信託が保有する当社株式を含めています。なお、当該信託口が保有する当社株式の期中平均株式数は、前第1四半期連結累計期間は177,619株、当第1四半期連結累計期間は166,862株です。

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。連結業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2026年5月14日（木）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く世界経済は、主要国における景気動向が総じて底堅く推移する一方で、中東情勢の緊迫化に伴い新たな地政学リスクが顕在化し、エネルギー価格や国際物流をめぐる不確実性が高まる局面となりました。また、生成AI需要の拡大を背景とした半導体メモリ価格の上昇に加え、米国の関税政策の変更による一時的な関税率の変化など、当社を取り巻く事業環境は、引き続き先行き不透明な状況となりました。

楽器市場においては、コロナ禍における在宅需要の拡大後、社会活動の正常化に伴う需要の反動減が長期にわたり継続していましたが、当第1四半期には底打ち感が見られ、緩やかな回復局面にあると認識しています。当社においては、継続的な新製品の発売に加え、中期経営計画に沿った戦略を着実に進めました。

以上の結果、第1四半期連結累計期間の売上高は、25,633百万円(前年同期比13.7%増)となりました。損益につきましては、営業利益は1,947百万円(前年同期比35.0%増)、経常利益は1,731百万円(前年同期比28.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,429百万円(前年同期比22.1%減)となりました。

製品カテゴリーごとの販売状況(対前年同期比)は以下のとおりです。

(鍵盤楽器) 売上高6,938百万円(前年同期比19.2%増)

電子ピアノは、市場の回復に加え、ポータブルタイプの電子ピアノが米国及び中国を中心に好調に推移しました。

また、昨年10年ぶりにリニューアルした家具仕上げのデジタルピアノも高い需要が継続しました。

(管打楽器) 売上高7,470百万円(前年同期比16.3%増)

電子ドラムは、昨年発売した新製品群の需要が米国を中心に非常に好調に推移しました。またDrum Workshop, Inc.社(DW社)のアコースティックドラムにおいても、欧州を中心に販売は回復基調となりました。

一方、電子管楽器は、主力市場である中国において、競争環境激化の影響を受け、引き続き厳しい事業環境となりました。

(ギター関連機器) 売上高6,741百万円(前年同期比20.9%増)

ギターエフェクターは、コンパクトエフェクター、マルチエフェクターともに、堅調な需要に加え、新製品群の効果により高水準で推移しました。楽器用アンプにおいても、主力のKATANAシリーズが引き続き好調に推移しました。

(クリエーション関連機器&サービス) 3,105百万円(前年同期比6.6%減)

シンセサイザーは、主に前年同期間に投入した大型新製品の需要反動減により低調に推移しました。

ダンス&DJ関連製品では、一部製品で供給面の制約が生じたものの、需要は底堅く、概ね堅調に推移しました。

ソフトウェア/サービス分野では、Roland Cloudにおいて、ユーザーのLTV(ライフタイムバリュー)を高めるためのコンテンツやサービスの提供を継続し、会員数は引き続き増加しました。

(映像音響機器) 売上高568百万円(前年同期比21.0%減)

ビデオ関連製品は、設備需要自体は概ね堅調に推移しましたが、前年同期間に成立した大型商談の反動により、販売は減少しました。

地域ごとの販売状況等の詳細につきましては、当社IRサイトに掲載しています決算説明会資料をご参照ください。

<https://ir.roland.com/ja/ir.html>

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して2,668百万円減少し、80,809百万円となりました。その主な要因は、次項に詳述するキャッシュ・フローの状況により現金及び預金が385百万円増加した一方で、売上債権が2,096百万円、棚卸資産が626百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末と比較して2,690百万円減少し、39,422百万円となりました。その主な要因は、借入金が1,742百万円、流動負債のその他に含まれる未払費用が764百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比較して22百万円増加し、41,386百万円となりました。その主な要因は、配当金の支払いにより剰余金が2,256百万円減少した一方で、主要国通貨に対する円安基調により為替換算調整勘定が978百万円増加し、また親会社株主に帰属する四半期純利益が1,429百万円あったことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して1.6ポイント増加し、50.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間において現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、385百万円増加（前年同期は2,637百万円増加）し、期末残高は16,261百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、主として税金等調整前四半期純利益及び運転資金の減少により、4,926百万円（前年同期に得られた資金は3,894百万円）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、主として有形固定資産の取得による支出により、617百万円（前年同期に使用した資金は959百万円）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、主として借入金の返済や配当金の支払い等により、4,179百万円（前年同期に使用した資金は97百万円）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の通期連結業績につきましては、2026年2月13日に公表しました業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には、適切に開示していきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年 3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,876	16,261
受取手形及び売掛金	13,353	11,257
商品及び製品	18,829	18,185
仕掛品	1,438	1,641
原材料及び貯蔵品	7,052	6,867
その他	2,972	2,243
貸倒引当金	△728	△802
流動資産合計	58,795	55,655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,553	9,769
土地	2,338	2,349
その他（純額）	2,342	2,471
有形固定資産合計	14,234	14,590
無形固定資産		
その他	3,026	2,961
無形固定資産合計	3,026	2,961
投資その他の資産		
投資有価証券	759	761
その他	6,759	6,948
貸倒引当金	△99	△107
投資その他の資産合計	7,420	7,602
固定資産合計	24,681	25,154
資産合計	83,477	80,809

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年 3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,841	6,935
短期借入金	1,100	—
1年内返済予定の長期借入金	2,570	2,570
未払法人税等	411	378
賞与引当金	879	539
役員賞与引当金	22	13
製品保証引当金	411	423
その他	7,934	7,071
流動負債合計	20,170	17,932
固定負債		
長期借入金	18,490	17,847
株式給付引当金	248	281
役員株式給付引当金	47	62
退職給付に係る負債	280	284
資産除去債務	100	117
その他	2,775	2,896
固定負債合計	21,942	21,490
負債合計	42,113	39,422
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,641	9,641
利益剰余金	18,965	18,139
自己株式	△342	△339
株主資本合計	28,264	27,440
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37	38
為替換算調整勘定	9,845	10,824
退職給付に係る調整累計額	2,930	2,779
その他の包括利益累計額合計	12,813	13,642
非支配株主持分	286	303
純資産合計	41,364	41,386
負債純資産合計	83,477	80,809

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年1月1日 至2026年3月31日)
売上高	22,543	25,633
売上原価	12,983	14,950
売上総利益	9,559	10,682
販売費及び一般管理費	8,117	8,735
営業利益	1,442	1,947
営業外収益		
受取利息	9	12
雑収入	35	—
その他	1	2
営業外収益合計	46	15
営業外費用		
支払利息	39	69
為替差損	104	149
その他	2	12
営業外費用合計	145	231
経常利益	1,343	1,731
特別利益		
固定資産売却益	—	59
特別利益合計	—	59
特別損失		
固定資産除売却損	1	5
子会社清算損	11	—
特別退職金	11	28
訴訟関連損失	—	27
特別損失合計	24	61
税金等調整前四半期純利益	1,319	1,730
法人税、住民税及び事業税	△46	302
法人税等調整額	△467	△8
法人税等合計	△514	293
四半期純利益	1,833	1,436
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,835	1,429

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年 1月 1日 至 2025年 3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年 1月 1日 至 2026年 3月31日)
四半期純利益	1,833	1,436
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	1
為替換算調整勘定	△2,138	988
退職給付に係る調整額	△100	△150
その他の包括利益合計	△2,248	838
四半期包括利益	△415	2,275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△400	2,258
非支配株主に係る四半期包括利益	△14	17

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年 1月 1日 至 2025年 3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年 1月 1日 至 2026年 3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,319	1,730
減価償却費	658	730
のれん償却額	97	1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△148	4
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△246
受取利息及び受取配当金	△9	△12
支払利息	39	69
為替差損益 (△は益)	189	181
固定資産除売却損益 (△は益)	1	△54
子会社清算損益 (△は益)	11	—
売上債権の増減額 (△は増加)	34	2,205
棚卸資産の増減額 (△は増加)	772	1,059
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,292	△201
その他	△273	△97
小計	3,983	5,369
利息及び配当金の受取額	9	11
利息の支払額	△39	△67
法人税等の支払額	△59	△386
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,894	4,926
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△830	△578
有形固定資産の売却による収入	8	67
無形固定資産の取得による支出	△120	△49
その他	△17	△56
投資活動によるキャッシュ・フロー	△959	△617
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	900	△1,100
長期借入れによる収入	7,900	—
長期借入金の返済による支出	△598	△642
自己株式の取得による支出	△5,799	—
自己株式の売却による収入	51	—
配当金の支払額	△2,340	△2,197
その他	△210	△240
財務活動によるキャッシュ・フロー	△97	△4,179
現金及び現金同等物に係る換算差額	△200	256
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,637	385
現金及び現金同等物の期首残高	14,478	15,876
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,116	16,261

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、電子楽器事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年 1月 1日 至 2025年 3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年 1月 1日 至 2026年 3月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	67円65銭	54円20銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	1,835	1,429
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	1,835	1,429
普通株式の期中平均株式数(千株)	27,125	26,374
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	67円29銭	—
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	145	—
(うち新株予約権(千株))	(145)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 1. 役員向け株式給付信託及び従業員向け株式給付信託が保有する当社の株式を、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算から控除する自己株式に含めています。なお、当該信託口が保有する当社株式の期中平均株式数は前第1四半期連結累計期間は177,619株、当第1四半期連結累計期間は166,862株です。

(注) 2. 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

(メキシコ子会社における資金流出事案の発生)

当社は、2026年4月21日及び23日（メキシコ時間）、当社メキシコ子会社において、悪意ある第三者による虚偽の指示に基づき、資金を流出させる事案が発生したことを2026年4月25日（日本時間）に確認しました。

本件による被害額は約136百万円（2026年4月27日現在）であり、当社及び当該子会社において、関係金融機関へ資金回収に向けた手続き及び調査の要請、関係当局への届出及び法的対応の検討、事実関係の確認及び内部調査を実施しています。

なお、本件による2026年12月期の連結業績への影響は軽微であると見込んでいます。